

# 日本の将来推計人口（平成29年推計）の概要

# 将来推計人口(平成29年推計)のポイント

## 《仮定》

### 合計特殊出生率の仮定

(2010年) 1.39 (実績)	→	(2015年) 1.45 (実績)	→	(2065年) 1.44	<1.35>	中位						
				<table border="0"> <tr> <td>1.65</td> <td>&lt;1.60&gt;</td> <td>高位</td> </tr> <tr> <td>1.25</td> <td>&lt;1.12&gt;</td> <td>低位</td> </tr> </table>	1.65	<1.60>	高位	1.25	<1.12>	低位		
1.65	<1.60>	高位										
1.25	<1.12>	低位										

### 平均寿命の仮定(中位)

(2015年)		(2065年)
男 80.75年	→	男 84.95 <84.19年>
女 86.98年		女 91.35 <90.93年>
(実績)		

※ < >内は前回推計(H24)の2060年の仮定値

## 《結果》

### 日本の総人口

<実績>	<今回推計>	(前回推計)	(参考)
2015年 1億2,709万人	→	2065年 8,808万人	2115年 5,056万人
		[ 8,135万人 ]	

### 老年人口(65歳以上)

3,387万人	→	3,381万人	[ 3,287万人 ]	→	1,943万人
高齢化率《26.6%》		《38.4%》	《40.4%》		《38.4%》

### 生産年齢人口(15~64歳)

7,728万人	→	4,529万人	[ 4,113万人 ]	→	2,592万人
《60.8%》		《51.4%》	《50.6%》		《51.3%》

### 年少人口(0~14歳)

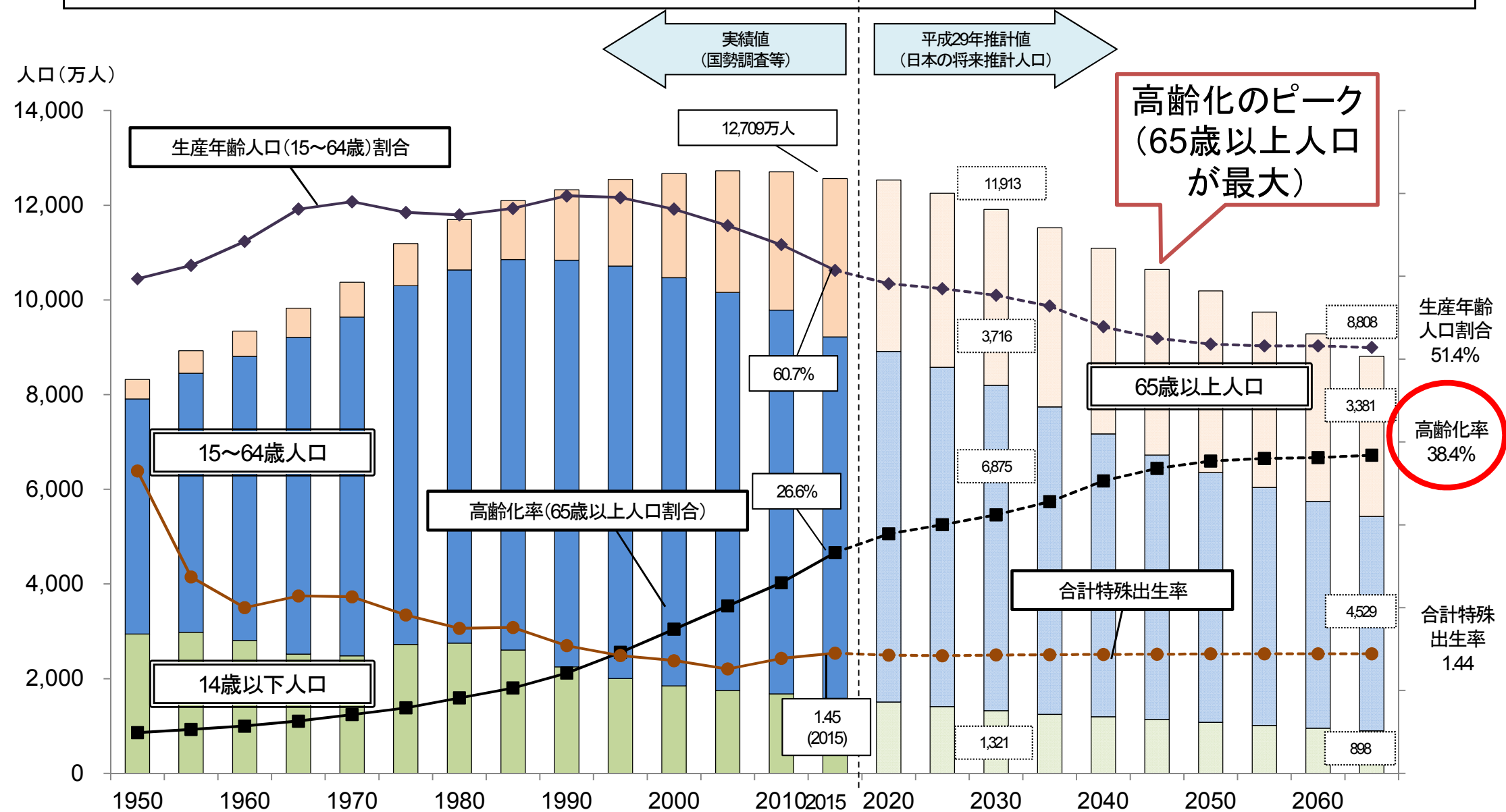
1,595万人	→	898万人	[ 735万人 ]	→	520万人
《12.5%》		《10.2%》	《9.0%》		《10.3%》

出生仮定を変えた場合の2065年の総人口、高齢化率

高位推計	(1.65)	9,490万人	(35.6%)
低位推計	(1.25)	8,213万人	(41.2%)

# 人口の年次推移

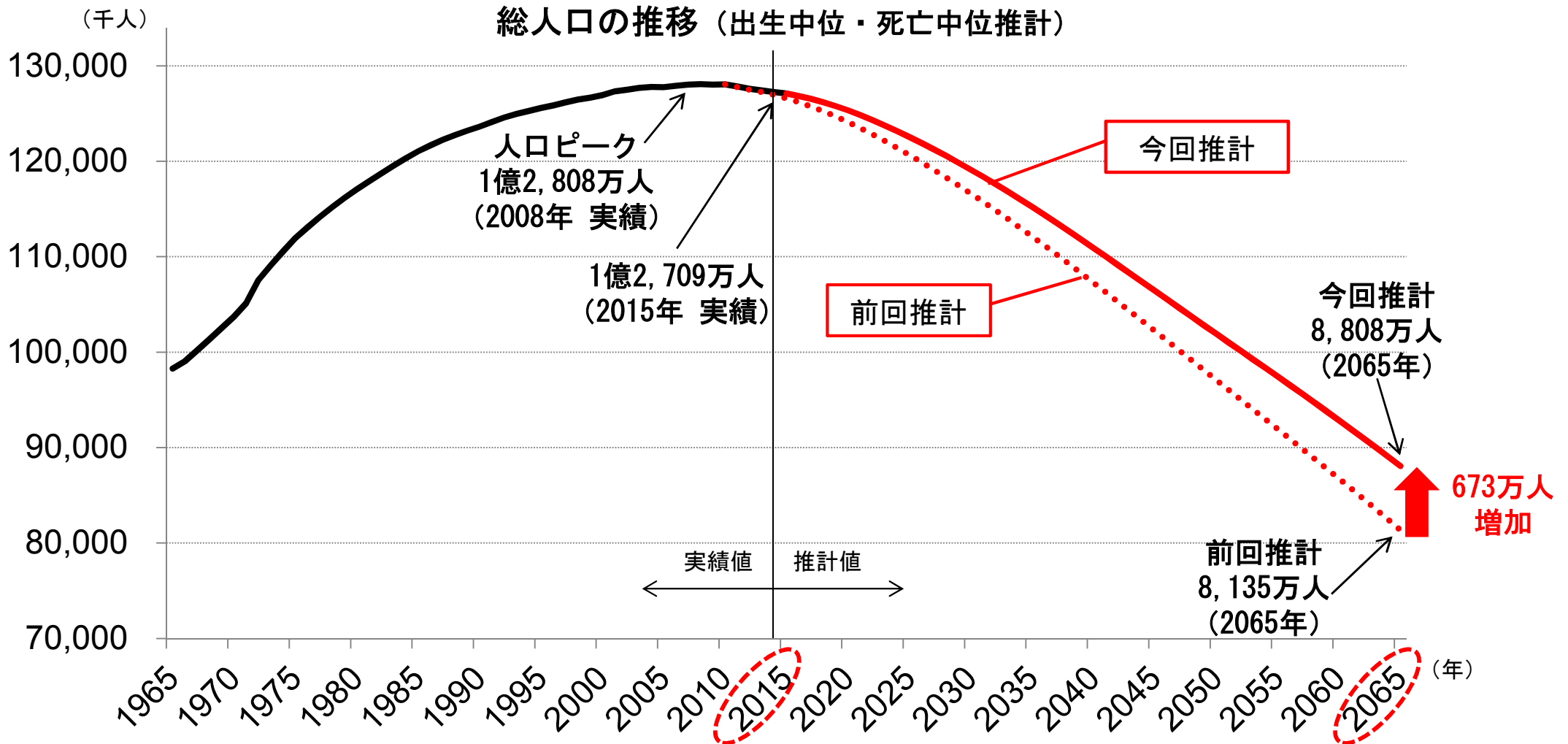
○ 日本の人口は近年減少局面を迎えている。2065年には総人口が9,000万人を割り込み、高齢化率は38%台の水準になると推計されている。



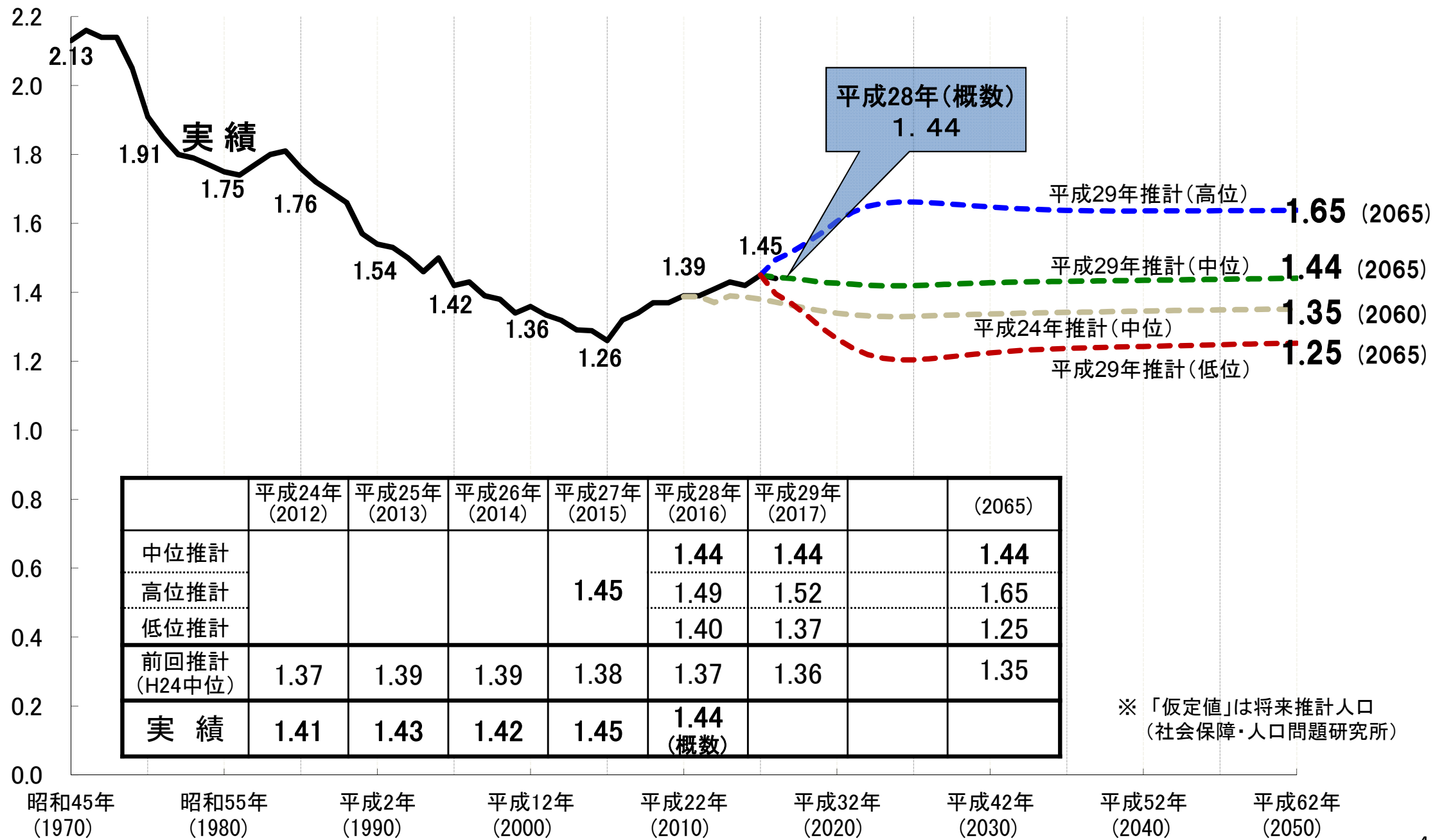
(出所) 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29推計):出生中位・死亡中位推計」(各年10月1日現在人口) 厚生労働省「人口動態統計」

# 日本の将来推計人口(平成29年推計)

- 5年ごとの国勢調査(平成27年調査)の結果を受けて、これを出発点とした日本の将来の人口推計を国立社会保障・人口問題研究所が実施。(概ね5年に1度実施。今回は戦後で15回目)
- 今回の推計では、近年の30~40歳代の出生動向の改善等を反映し、出生率の仮定は前回推計(平成24年推計)より上方に設定。(前回:1.35(出生中位)→今回:1.44(出生中位))
- このため、前回推計と比較すると、将来に向けた人口減少の速度や高齢化の進行度合いが緩和。

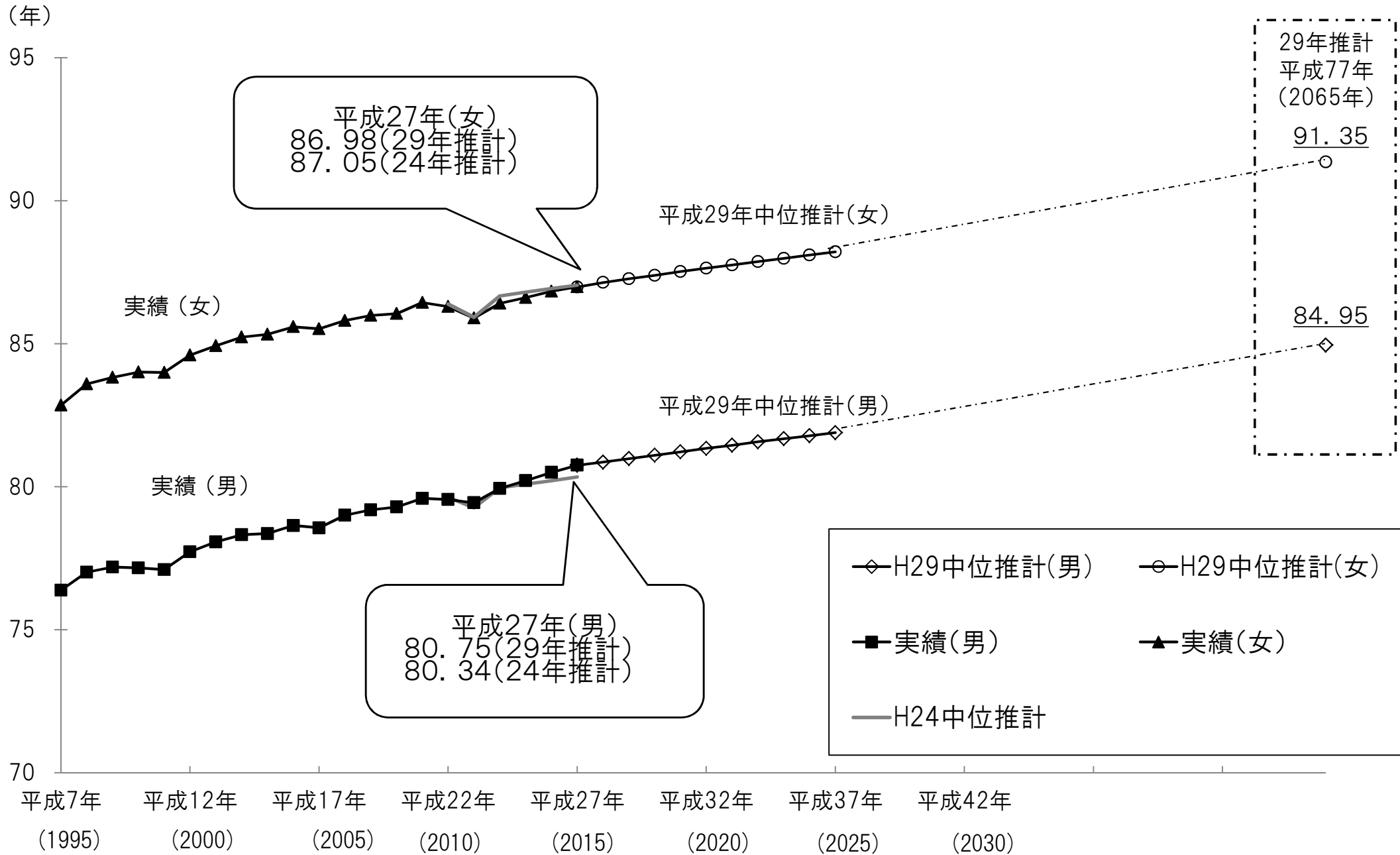


# 合計特殊出生率の「実績」と「仮定値」の比較

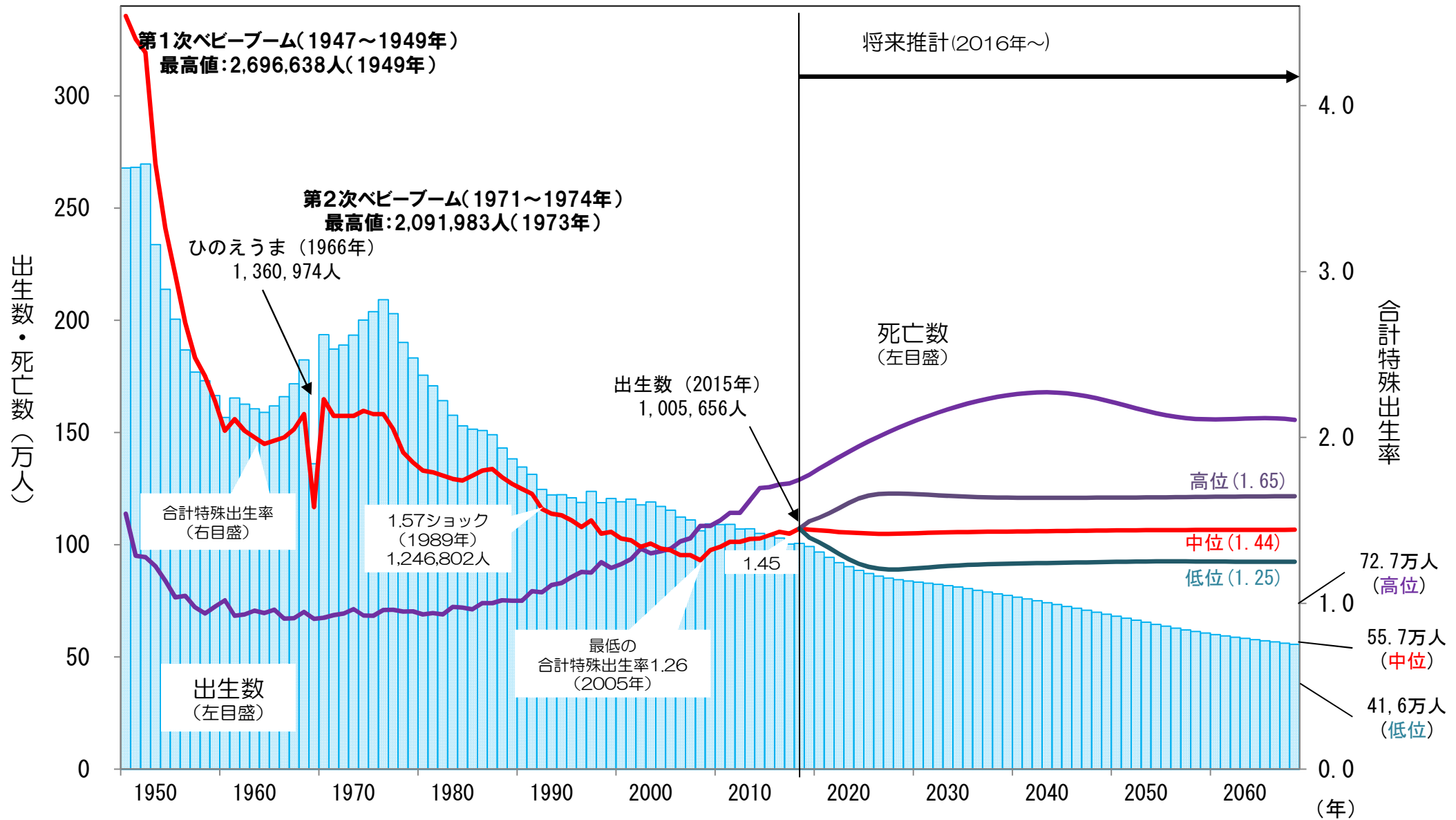


※「仮定値」は将来推計人口  
(社会保障・人口問題研究所)

# 平均寿命の「実績」と「仮定値」の比較



# 出生数及び合計特殊出生率の年次推移(昭和22~平成77年)



資料:2015年以前:厚生労働省大臣官房統計情報部「人口動態統計」

2016年以降:国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)」[出生中位・死亡中位推計]

(注)2015年までは確定数である。